

テーマ型共創フロント 募集シート

■提案の募集内容について

募集テーマ	水道施設利活用についての提案
提案の募集対象 (テーマに関連する事業等の概要)	【名称、概要、場所、その他データ等】 限られた財源の中でも、適正な周期で水道施設（水路橋・水管橋、配水池等）を保全・更新していくための財源確保策の一環として、水道施設の本来の機能を損なわない範囲で水道施設を利活用する提案を募集します。
提案を募集する背景・課題	本市の水道事業は、給水人口の減、建設資材の高騰、施設整備の事業量増大等により、厳しい財政状況が続くことが見込まれていますが、限られた財源の中でも、適正な周期で水道施設（水路橋・水管橋、配水池等）を保全・更新していく必要があります。 そのため、局で所管している水道施設や水道用地を利活用することで、財源を確保することが必要と考えられるためです。
課題によって ①誰が ②どう困るのか	①市民 ②今後、適切に維持管理することができない場合、2021年10月に発生した六十谷水管橋の落橋事故のような事故が発生する可能性が高くなり、市民給水に多大な影響を与える可能性がある。
課題に対して横浜市が現在どう関わっているのか	水道局では、所管する水道施設について定期点検による変状の確認を実施し、異常がある場合には、当該施設の更新・維持管理を実施します。 しかし、今後、厳しい財政状況が続くことが見込まれ、適正な周期で水道施設を保全・更新していくことが難しくなる可能性があります。 そのため、局で所管している水道施設や水道用地を利活用することで、財源を確保する必要があるためです。
募集対象 ※チェックのついたものが、今回の募集の対象です	■ 公民連携の提案及び連携事業者の募集 ⇒テーマに関する公民連携の提案・アイデア及び連携事業者の両者を募集するものです。 □ 公民連携の提案のみの募集 ⇒横浜市が今後の事業等の方針や仕様を定めるために、テーマに関する公民連携の提案・アイデア等のみを募集するものであり、連携事業者を募集するものではありません。
横浜市が希望する提案について	水道施設の本来の機能を損なわない範囲で水道施設を利活用する提案を希望しています。なお、「本来の機能を損なわない範囲かどうか」については、案件ごとに判断します。
想定する提案の例 ※事業者さま・水道局双方にメリットのある利活用を積極的に募集します。	【水を利用した利活用方法】 ・浄水汚泥を利用したバイオ発電施設 ・水素ステーション施設の設置 ・その他クリーンエネルギーの設置 【施設・用地を利用した利活用方法】 ・広告、ネーミングライツの設定（形式の提案含む） ・その他用地を活用した事業 ※なお、利活用形態については、水道施設という性質上、実施にあたって制約が課される場合があります。

■提案にあたっての条件

募集期間	随時
実施予定時期	随時
提案の形式	様式3の【提案シート】をご提出ください。 ※提案シートの他、企画書や関連資料の添付も可です
提案の選定方法 ※チェックのある方法で選定します	■特に選定をしません（提案内容が妥当であれば採用数を絞込まない） ☐ 審査等による選定等を実施（提案内容等を審査・選定し採用数を絞込む） ☐ 提案を参考に、あらためて実施事業者の公募等を実施

	□その他（ ）
横浜市水道局から提供できるメリット	・連携事業者名及び取組内容の公表（市ウェブサイト、記者発表等） ・その他、事業者さまと協議して決定します。
横浜市の予算措置の可能性	水道施設を利活用したい事業者さまより金額を提示いただく事業のため、当該事業に係る予算の確保はいたしません。
その他の留意点	本事業の趣旨に合わせて、ご提案後に利活用内容の調整をさせていただきますことがあります。 また、水道施設利活用について、直接的に水道施設影響がない場合でも、浄水工程の支障となる場合は提案を調整させていただく場合があります。
提案のお申込み先・内容についてのお問い合わせ先（事業所管部署）	【水道施設の利活用方法】 横浜市水道局 浄水課 浄水係 TEL 045-671-3544 FAX 045-212-1158 E-mail su-josui@city.yokohama.lg.jp